

町長の『余白に書かせて!』



6月8日から9日にかけて「地ビールフェスト大山2019」が開催され、9回目となる今年のイベントには、11府県の14社によって約100種類の地ビールが提供されました。

大山で定番となっているこのイベントは、大自然の中で全国各地の御当地ビールが楽しめるということで、毎年、県内外から多くの人が訪れています。

偶然にも会場で、この「余白に書かせて」をいつも読んでいるという方に出会いましたので、今回はそこで感じたことをお伝えしたいと思います。

地ビール生産が盛んなイメージがあるのは北米ですが、この日ばかりは大山が海外なのかと錯覚するくらいに外国人客も多く、英語を始めとして多言語が飛び交っていました。



そんな多様な来場者を眺めている、会場の榊水高原は伯耆町内なのですが、多くの人は伯耆町にいますか大山町にいるかという意識ではなく、「大山」に来ているという意識なのだろうと確信しました。

地元に住んでいると、どうしても市町村の境界を考えてしまいますが、県外や国外からの来訪者に行政区域は関係ありません。

自治体の区域が違っても大山はひとつであり、大山というイメージやこの地域の産業などは、お互いに持ちつ持たれつで成り立っていることを念頭に置きながら、今後の町政を進めていきたいと感じた初夏の大山でした。

(文責/町長 竹口大紀)



はい! 消費生活相談窓口です

「情報商材」のトラブル

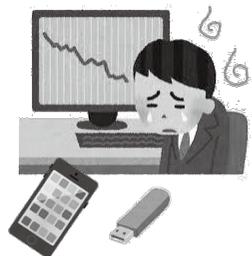
簡単にもうかる話はありません!

副業・投資のネット広告に

「簡単に高収入」と強調の動画などを見ても安易に連絡をしないで!



簡単にもうかるって聞いたのに



【アドバイス】

* 情報商材とは、ネット通販で販売される副業、投資などの収入を得るための情報

【事例】 高額な利益を得られるというインターネットの動画を見て、興味があり連絡をした。同じように投資をすれば、必ず勝てるし指導料はもうけた後でよい、というので、指示された複数の投資サイトに20万円を支払った。しかし、もうからず、苦情を言うと、勝てる情報が入っているUSB30万円の購入を迫られ買ったが、勝てる情報が入っていないし、指示通りにしても全くもうからなかった。(50代男性)

◆消費生活相談窓口

大山町役場 住民課

☎0859・54・5210 (平日)

鳥取県消費生活センター

☎0859・34・2648

(平日・土日)